

委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】

内容報告書

団体名：特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター

1. 事業の概要

事業名称	生活日本語「会話はもちろん、読める！書ける！漢字も増やそう！」教室と支援者の発展事業
事業の目的	「生活日本語」の教室を拡充し進化させる。これまで5年間、講師とボランティアとが協力して「生活日本語」クラスを行っており、学習者の日本語会話力と多文化相互理解をすすめることができています。そこで培った学習方法や内容を養成講座と研修会で取り上げ、より多くの支援者養成とレベルアップを行う。さらにこれまで手薄であった中上級レベルに引き上げていくための読み書きと漢字の力をつける。漢字に関しては意味が分かり読めること、書く場合の基本知識を習得するテキストを作成し、語彙を発展させられるようにする。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	当地域は古くから居住している外国人も新たに生活を始める外国人も多くいる。学習申込みも10代後半～60代と幅広く、入国の早い時期にしっかりと日本語能力をつけることが、その後の生活に大きく影響することは長年の外国人支援から明らかである。しかし生活者に対して、必要な生活日本語から学習でき、しかも長年にわたって力になる日本語力をつける教育カリキュラムはない。
事業内容の概要	地域の日本人市民と同居し、不十分な日本語でも理解し合えるようコミュニケーション重視の生活日本語クラスを行う。日本語講師と日本人市民とが協力して教室活動を行い、お互いに多文化コミュニケーション力を高める。 支援者の中でも、生活している外国人がどんな日本語がまず必要不可欠なのかを理解していない人がいる。養成講座や研修会を行い、「生活するために必要なことばや言い回しとはどんなものか」「どうやって生活日本語を伝えるか」などを理解してもらい、クラスの支援者や多文化共生社会実現の担い手となってもらう。 また長年の居住者や学習継続者でも読み書きにハンデを持っている人が多くいる。文字の読み書きの基礎力をしっかりと身につけてもらい、中上級の能力まで伸ばせるように、読み書きの学習テキストを作成する。
事業の実施期間	平成28年5月～平成29年3月（11か月間）

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	山村 昭	神戸市市長室国際部
2	井口 洋	(公財)兵庫県国際交流協会
3	小林 真由美	(公財)神戸国際協力交流センター
4	中野 美紀	(公財)難民事業本部関西支部
5	後藤 ひろ子	兵庫日本語ボランティアネットワーク (特非)神戸定住外国人支援センター
6	高橋 博子	兵庫日本語ボランティアネットワーク (特非)神戸定住外国人支援センター
7	志岐 良子	(特非)神戸定住外国人支援センター
8	奥 優伽子	(特非)神戸定住外国人支援センター



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年7月4日(月) 13:00～15:00	2時間	当センター教室スペース	山村昭、井口洋、小林真由美、中野美紀、後藤ひろ子、高橋博子、志岐良子、奥優伽子	1. それぞれの団体の日本語学習支援を自己紹介を兼ねて共有 2. 今年度の事業計画概要説明、進め方、事業の検証方法の意見交換
2	平成28年10月24日(月) 13:00～15:00	2時間	当センター教室スペース	井口洋、小林真由美、中野美紀、後藤ひろ子、高橋博子、奥優伽子	1. 「生活日本語教室」の様子発表 2. 活動の中間報告、内容についての質疑応答、アドバイスなど意見交換
3	平成29年3月1日(水) 10:30～12:30	2時間	当センター教室スペース	井口洋、小林真由美、中野美紀、後藤ひろ子、高橋博子、志岐良子、奥優伽子	1. 「生活日本語教室」参加 2. 今年度の活動報告、反省、課題の洗い出し
4					

(2) 事業の実施体制

運営委員会で前年度までを反省し、成果と改善点を洗い出し、H28年度の事業をより充実したものにできるよう実施体制を整える。

生活日本語クラスは、講師とボランティア支援者が定期的に会合を行い、学習者の日本語能力を上げる教室活動を行う。成功例と改善点を共有し、学習者の上達を可視化できるように取り組む。当センターが作成した「学習記録簿」を引き続き活用する。日本人と良好な関係をもてるようにクラス内の会話学習を改善する取り組みを行う。

日本語支援者事業では、講師とコーディネーターが当センターの学習者とボランティア支援者の意見も取り入れながら企画する。支援者の輪を広げ、支援者の能力向上を目標とする計画である。

これまでの取り組みで文字学習が手薄な状況であったので、H28年度は文字の読み書きの基礎力をつける学習帳を作成する。ひらがなや漢字は筆書の心得があると、色々なフォントを読む場合にもわかりやすいし、書く場合も筆順や画数を習得するのに役に立つ。また太さやカーブ、トメ、ハネを学習することで日本語らしい文字が書けるようになる。国語と書道教員出身の講師、日本語ボランティアとコーディネーターとが協力し、会合を重ねながら外国人の文字の読み書きの基本を学ぶ学習帳と指導する時に必要な知識を追記したものを作成する。

(3) 地域における連携体制

神戸市には数多くの教室があり、これまでも教室同士で連携を行ってきた。また「兵庫日本語ボランティアネットワーク」と「ひょうご日本語ネット」に所属しているのが神戸市と兵庫県の行政、国際交流協会、教育委員会、日本語学校、日本語教室、大学とつながり、個別の事例や悩み事、アドバイスを求めるなど相談ができています。連携体制を推進することによって、他の教室にも目を向けるようになり、さらに学習者が複数の教室で学習している状況を知り、外国人の生活状況を知ろうとするきっかけにもなっている。自分自身が連携の会議の場に出席することや、繋がりを作る役割を担うことで、支援側のお互いの理解が深まった。それが学習者、ひいては地域の外国人への理解を深めることにもなっている。より良い体制を考えること、横の繋がりをもち情報を共有、交換することで地域全体を視野に入れて考えることなど、連携を進める意味は大きい。今後は全国にも目を向けて連携を深めていきたい。

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称：生活日本語クラス】									
目的・目標	ケミカル業界の家内工業的な職場で働く人が多く、難民出身やその関係で来たベトナム人の多住地域である。結婚や家族の一員として住んでいくので、日本語で生活できることを目標に読み書き会話を含めた学習を行う。ボランティアには自然な日本語で話してもらい、学習者が地域のことばに順応できるようにする。教室外でも自分で語学の上達に結びつける意識をもつことができるように学習記録簿を使って自律的に学習する訓練を行う。								
対象	入門・初級・中級レベルの日本語学習者								
取組の内容	前半は全体で会話学習やテーマ学習を行い、後半はマンツーマンかそれに近い体制で個人のレベルやニーズに合った学習を行う。月初めにその月の日本と学習者の国の行事や祭り、風習などの紹介を取り入れた。日本の家屋や着物の着方など少し踏み入った日本文化紹介を行った。聞く話すことに問題なく文字の読み書きができない学習者の学習も行った。								
実施期間	平成28年5月10日～平成29年3月14日					曜日・時間帯		火曜日(10:00～12:00)	
開催回数	全 78 時間 (1回 2時間 × 39回)					開催場所		神戸定住外国人支援センター教室スペース	
参加者	総数 35人 (日本語学習者19人、指導者・補助者3人、ボランティア支援者13人)					使用した教材・リソース		なでしこジャパニーズ、	
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	2	3	0	8	0	0	0	0	2
	アメリカ(1人) 台湾(1人) 日本(1人) インド(1人)								
カリキュラム案活用	第2、3、5,18,21,24,30,31,34,36,38回で、カリキュラム案のⅠ健康安全に暮らす、Ⅲ消費活動を行う、Ⅶ人とかかわる を取り上げた。ガイドブックのP.8状況ニーズ、P.37活動方法の例の具体的内容をボランティアミーティングで説明した。・学習の記録P.72,73、達成記録P.54～64を参考に、毎回の振かえりシートを作成しコメントを書いて返した。								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名	
1	平成28年5月10日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	9	子どもの日	あなたの国にも子どもの日」と同じような行事がありますか。子供の成長と健康を願う祝日。旧暦の端午の節句。五月人形、鯉のぼり、金太郎、桃太郎、きび団子、食べて感想を言う。	奥 優伽子	ハティタンガ	
2	平成28年5月17日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	買い物	1. すみません、～の売り場はどこですか？ 2. これを下さい。 3. (説明できないときは実物を持っていきます)これと同じものを下さい。	奥 優伽子	ハティタンガ	
3	平成28年5月24日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	買い物(2)	1. 本体価格、税込み価格、 2. 数量限定/先着30名様 1人様1点限り ＊明日友達の家が遊びに来ます。何を御馳走しますか？買い物メモを書きましょう。	奥 優伽子	ハティタンガ	
4	平成28年6月7日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	スピーチ	＊知らない言葉を質問しよう 主食 － 副食、煮物 － 漬物 火加減 弱火 － 中火 － 強火 ーとろ火 調味料 塩 ごちよう 酒 みりん 砂糖 ほんすウ	奥 優伽子		
5	平成28年6月14日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	電話する/待ち合わせ	(何でジャパニーズ) 1. 誘う 2. 断る 3. キャンセル、遅れる	奥 優伽子		
6	平成28年6月21日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	台風	1. 何があつたんだろうか？…「警報がでました」、「避難勧告がでました」 2. 「避難所はどこですか？…「〇〇小学校です」 ＊もし台風が来たら －－－ するかもしれません	奥 優伽子	ハティタンガ	
7	平成28年6月28日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	七夕	＊七夕物語を読みましよう 登場人物 おつひめ 神様 ひこぼし 宿題：読む練習	奥 優伽子	ハティタンガ	
8	平成28年7月5日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	七夕(2)	＊グループで読みましよう マル ＝ 点 で交代。「」かぎかっこは一人で読む 飾り/短冊 ＊自分の願い事を話してください。	奥 優伽子	ハティタンガ	
9	平成28年7月12日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	欠席/遅刻の連絡	＊子供が学校を休む時 ＊あなたがKFC教室を休む時 1. 自分の名前 2. クラス 3. 伝えて欲しい人 4. 理由を説明する、「～ので」	奥 優伽子	ハティタンガ	
10	平成28年7月19日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	日本の夏(1)	梅雨 → 夏 キーワード：夏祭り、花火、夜店(屋台) ＊日本の夏祭りに行ったことがありますか？ (屋台で売っている食べ物)：りんご飴、焼き肉、からあげ	奥 優伽子	ハティタンガ	
11	平成28年7月26日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	4	日本の夏(2)お盆	・迎え火 ・仏壇 ・お供養 ・お墓参り ・供える ・お線香 ・お経	奥 優伽子	ハティタンガ	
12	平成28年8月2日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	回覧板	キーワード：自治会 掲示板 回覧板 1 こんにちは、回覧板です 2 この意味が分からないですが、教えてもらえませんか 3 次は誰に回したらいいですか？	奥 優伽子	ハティタンガ	
13	平成28年8月9日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	書道 書写 お習字	1 道具の名前 2 書くときの姿勢 3 毛筆の部分の名前、持ち方	奥 優伽子	ハティタンガ	
14	平成28年8月23日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	3	書写 実習	1 道具の置き方 2 書くときの姿勢 筆の持ち方 (筆の穂先に筆圧をくわえること) 3 書き順(＝書く順)	奥 優伽子	ハティタンガ	
15	平成28年8月30日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース、	3	町を歩こう	新長田も町にはいろいろな店や観光場所があります。あなたのお気に入りはどこですか。クラスのみなさんに紹介しましよう お豆腐屋さん、八百屋さん お肉屋さん、 コロッケ屋さん	奥 優伽子	ハティタンガ	
16	平成28年9月6日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース、教室の周辺地区	6	個別学習 茶話会	個別学習 (10:15～11:35) 茶話会 (11:35～12:00)	奥 優伽子	ハティタンガ	

17	平成28年9月13日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	8	月/お月さん	・日本語では月の形によっていろいろな呼び方があります 1月歴の8月15日の夜。月を見て楽しめます → お月見	後藤 ひろ子	ハティタンガ
18	平成28年9月27日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	8	病院	①。。。が痛い →。。。が痛いんです ②。。。が痛いんですがいい病院を知っていますか 診療科	奥 優伽子	ハティタンガ
19	平成28年10月4日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	スポーツ	10月10日(月)は体育の日で祝日です。 1964年東京オリンピック開会式	奥 優伽子	ハティタンガ
20	平成28年10月11日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	6	豆腐	1 豆腐屋さん スーパーの豆腐売り場で売っているもの 焼豆腐 絹豆腐 木綿豆腐 厚揚げ豆腐 豆乳 あから 2 日本で食べた豆腐料理は何ですか？ 自あえの試食	奥 優伽子	ハティタンガ
21	平成28年10月18日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	7	事件・事故	事件や事故の名前 1 助けて 誰か来て 2 警察を呼んで下さい ＊日本で何かトラブルに遭ったことがありますか？	奥 優伽子	ハティタンガ
22	平成28年10月25日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	七五三	女の子 三さい 七さい 男の子 五さい 七さい 11月5日にします。子供の成長を祝う行事です。神社 参拝 参詣 御祝 千歳飴 晴れ着 記念撮影	奥 優伽子	ハティタンガ
23	平成28年11月1日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	7	11月の祝日	①11月3日木曜日は「文化の日」です ②11月23日水曜日は「勤労感謝の日」です 10月27日から11月9日までの2週間は読書週間です。	奥 優伽子	ハティタンガ
24	平成28年11月8日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	8	電話でピザを注文する	宅配＝品物を家に配達すること 品物が届く、品物を注文する 品物を届ける クーポン券＝割引券	奥 優伽子	ハティタンガ
25	平成28年11月15日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	3	昔話の主人公	昨表:「浦島太郎」のお話の本を作る ①紙を折る 山折り／谷折り ②番号順に並べる ③ホッチキスで閉じる	奥 優伽子	ハティタンガ
26	平成28年11月22日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	7	浦島 太郎	浦島太郎の物語の全体像をつかむ 何回も音読する 前半の詳しい説明	奥 優伽子	ハティタンガ
27	平成28年12月6日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	8	浦島 太郎	中盤の物語の説明 (。 まる 句点 「」 かぎかっこ 、 テン 読点) 玉手箱	奥 優伽子	ハティタンガ
28	平成28年12月13日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	7	浦島 太郎	後半の物語の説明 みんなの前で読みの発表 歌の紹介 出てきたことばの復習	奥 優伽子	ハティタンガ
29	平成28年12月20日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	6	年賀状	1. いつ出しますか？ 12月15日から25日 2. どんなハガキを使いますか？お年玉郵便葉書 年賀状 3. 年賀状に書くこと(新年を願う言葉、日付、添え文、干支)	奥 優伽子	ハティタンガ
30	平成29年1月10日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	5	地震	1. 地震にあったことがありますか？(クイズ、あ～地震だ！その時どうする。 2. 家の外にいる時、地震が起きたらどうしますか？ 3. 地震に対してどんな準備が必要と考えましょう	奥 優伽子	ハティタンガ
31	平成29年1月17日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	7	1. シェイクアウト訓練 2. 学習記録の整理	シェイクアウト訓練(3つの安全行動):まず低い、頭を守る、動かない 緊急連絡メール発信、最後に黙祷をします。 昨年のグルーブトークの記録を見て、学習に日本語について発表して下さい。	奥 優伽子	ハティタンガ
32	平成29年1月24日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	6	スピーチ	昨年のグルーブトークの記録を見て、学習した日本語について発表して下さい。 菅さん「七五三」 林「浦島太郎の朗読」 知らない言葉を質問しましょう。	奥 優伽子	ハティタンガ
33	平成29年1月31日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	5	節分	しあさって2月3日(金)は節分です。豆まきをしたり、恵方巻を食べたりします。 ぼら袋をつくて、自分の年の数の豆を入れて、持って帰ります	奥 優伽子	ハティタンガ
34	平成29年2月7日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	3	暮らしのテーマ	・押す - 引く、開ける - 閉める(横断禁止) 紙、リサイクル、津波、非常口、避難場所、障壁者、車椅子、車の初心者 免許 紅葉マーク	奥 優伽子	ハティタンガ
35	平成29年2月14日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	4	1. スピーチ 2. バレンタインデー	回覧板、まわす、防災訓練、道の清掃 バレンタインデー、日本では女の人が男の人にチョコレートを贈ります。	奥 優伽子	ハティタンガ
36	平成29年2月21日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	2	ごみ分別	燃えるゴミ、燃えないゴミ、缶びんペットボトル、容器 包装プラスチック、大型ごみ、地域の資源回収など神戸市のごみ分別について	奥 優伽子	ハティタンガ
37	平成29年2月28日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	4	ひな祭り 桃の節句	3月3日はひな祭りです。ひな人形を飾ってお祝いします。 菱餅の紹介から、形の名前(〇・マル、△三角、□四角、トランプのマーク)を学習。	奥 優伽子	ハティタンガ
38	平成29年3月7日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	3	大型ごみを捨てる	神戸市の大型ごみの受付センターに電話をする練習 「すみません、〇〇を捨てたいんですが、、」、個数や大きさ、名前と住所、手数料や受付番号と収集日と収集場所の聞き取り練習。	奥 優伽子	ハティタンガ
39	平成29年3月14日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	4	ホワイトデー	2月のバレンタインデーの行事の復習。「お返し」「お礼」プレゼントをするなら何をするか、どうしてそれを選ぶのか話をする。	奥 優伽子	ハティタンガ

日本語教育の実施【活動の名称:									
目的・目標	ケミカル業界の家内工業的な職場で働く人が多く、難民出身やその関係で来たベトナム人の多住地域である。結婚や家族の一員として住んでいくので、日本語で生活できることを目標に読み書き会話を含めた学習を行う。ボランティアには自然な日本語で話してもらい、学習者が地域のことばに順応できるようにする。教室外でも自分で語学の上達に結びつける意識をもつことができるように学習記録簿を使って自律的に学習する訓練を行う。								
対象	入門・初級・中級レベルの日本語学習者								
取組の内容	前半は全体で会話学習やテーマ学習を行い、後半はマンツーマンかそれに近い体制で個人のレベルやニーズに合った学習を行う。月初めにその月の日本と学習者の国の行事や祭り、風習などの紹介を取り入れた。日本の家屋や着物の着方など少し踏み込んだ日本文化紹介を行った。聞く話すことに問題なく文字の読み書きができない学習者の学習も行った。								
実施期間	平成28年5月11日～平成29年3月15日					曜日・時間帯		水曜日(10:00～12:00)	
開催回数	全 78 時間 (1回 2時間 × 39回)					開催場所		神戸定住外国人支援センター教室スペース	
参加者	総数 38人 (日本語学習者24人、指導者1人、ボランティア支援者13人)					使用した教材・リソース		なでしこジャパニーズ、	
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	0	1	0	8	0	0	1	0	8
	イギリス(2人) アメリカ(2人) スイス(1人) 日本(1人)								
カリキュラム案活用	第7、9、10、24、17、18、20回で、カリキュラム案のⅠ健康安全に暮らす、Ⅲ消費活動を行う、Ⅶ人とかかわる を取り上げた。ガイドブックのP.8状況ニーズ、P.37活動方法の例の具体的内容をボランティアミーティングで説明した。・学習の記録P.72.73、達成記録P.54～64を参考に、毎回の振かえりシートを作成した。								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要		指導者名	補助者名
1	平成28年5月11日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	5月のカレンダー	メイデー:ゴールデンウィークは何をしますか？(しあわせの村、王子動物園、お墓参り、命日)こどもの日、憲法記念日 ジョン(後藤):初めての言葉(命日、3回忌、法事)、日本の習慣に興味を示した。		後藤ひろ子	
2	平成28年5月18日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	10	私のお気に入り	・好きなどころ、いいところ:私のお気に入りには～です(ペンケース、サングラス、携帯、カバン、フリクションペン、折り畳み傘) ・便利です 安全です 持ちやすい(～やすい) 持ちにくい(～にくい)。調べることができる 使いすて		後藤ひろ子	
3	平成28年5月25日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	11	趣味	・趣味は何ですか？ 自転車、散歩、料理をすること ・～ながら ～することです 悲しいとき聞きます。元氣になります ・料理などのたくさんの趣味(何をどうやって、いつ、など単語で終わらないように心がけた)		後藤ひろ子	
4	平成28年6月1日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	12	6月のカレンダー 暑いときどうしますか	6月4日 虫歯の日 6月12日 フィリピンの独立記念日 6月29日 にくひ うちわ、扇風機、窓を開ける。風通しがいい、水を飲む、冷たいものを食べる、山に行く、川、湖に行く。水風呂に入る。夏バテ、熱中症に気を付ける。風通しがいい		後藤ひろ子	
5	平成28年6月8日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	10	オノマトペ1	2つのグループに分けて進める → 学習者を4人と6人になる。話す機会が増えてよかったと思う。 オノマトペ(様子) どんどん どきどき びりびり めちゃめちゃ めろめろ びったり ばらばら かるかる ペにペに		後藤ひろ子	
6	平成28年6月15日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	10	オノマトペ2	10:00～10:40 オノマトペ(喜怒哀楽) クイズ しくしく ぶんぶん にやにや わいわい すくすく にににに ずきずき すらすら げらげら ポットラックパーティーの持ち寄り料理の名前 ドーナツ さくらもち 水ようかん ユーゲル		後藤ひろ子	
7	平成28年6月22日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	9	生活日本語 「電話をする、待ち合わせをする」	・電話する : 遅れます 休みます ・待ち合わせする : ～ませんか いつ どこ 前半も小グループで進める。前半最後発表する。ジョンさん、ひろあき、チェックさん、臨機応変によくできる。「行く、来る」 確実はない		後藤ひろ子	
8	平成28年7月6日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	9	7月のカレンダー	・「海の日」、「独立記念日」 夏休み、宿題、終業式、何をしませんか、思い出 ・「七夕の飾り」、自然災害、世界平和、洪水、消費期限、賞味期限 「～ように」 皆の日本語1 問題、読解分、読み書き、会話の練習		後藤ひろ子	
9	平成28年7月13日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	「日本のマナー」	・名礼づくり ・日本人は(やさしい、マナーがいい、親切、熱心) 日本のマナー(バスで並ぶ、静か、あいさつ、お辞儀をする) ・日本人は～できない: 席をゆずる 重いものをもつ 若い人はうるさい たんを吐く 肘をつかない		後藤ひろ子	
10	平成28年7月20日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	ゴミの分別	・「ハンドアウトを渡す」 ・なぜ分別するのか → 地球環境のため ・リサイクル工場、リサイクルショップ、ゴミを減らす ・電池、CD、化粧品のびんの分け方 洗う、「キケン」と書く。朝5時～8時に出す。前の日は出さない		後藤ひろ子	
11	平成28年7月27日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	「明日の夜は何を食べますか」	「昨日の夜は何を食べましたか」 夏のごはん(主食、主菜、副菜) やきなす すのめ そうめん 土用のうし → うなぎ(なまず)		後藤ひろ子	
12	平成28年8月3日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	9	8月のカレンダー	お盆 お墓参り 供えもの 盆踊り 花火 山の日 夏休み スイス8/1建国記念日 ベトナムのお盆は2月はじめ アメリカ、イギリス、フィリピン 11月1日、2日 ハロウィーンはお盆と同じようなこと		後藤ひろ子	

13	平成28年8月10日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	4	日本の家	・門、屋根、床、玄関、表札、間取り、たたみ フィリピン、スイス、ベトナムの家：バスタブ、リラク クスします、オートロック (戸じまりをします。 ひたたくりに年をつけます)	後藤ひろ子	
14	平成28年8月24日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	7	「生活日本語」 掲示板	前半：掲示板、回覧板、ポスター お知らせ、エレベータ休止、停電、点検、電信柱 流、引、切、出 後半：エスミーさん ひらがな かきの練習	後藤ひろ子	
15	平成28年9月7日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース、	7	9月のカレンダー	敬老日、秋分の日、彼方、月見、満月 だんご、おはぎ、すすき 日本の秋のイメージ (お風呂場の漢字)：自動、乾燥、除湿、換気 後半：山道 アミー 「一人で学べるひらがな」 読 み・書き	後藤ひろ子	
16	平成28年9月14日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース、教 室の周辺地区	6	かるたづくり	「百人一首」の紹介 「かるた」の紹介 グループ活動、「かるた」をつくる 「かるたゲームは盛り上がる」 あ、い～自分で言葉を考える。絵を描いていく。	後藤ひろ子	
17	平成28年9月21日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	3	「薬「くすり」」	・どこで使いますか 種類 飲み方 ・常備薬 健康保険料 ・食前 食間 食後 寝る前 体温計 平熱 とんぶく	後藤ひろ子	
18	平成28年9月28日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	3	災害 情報集め	土砂災害 洪水 浸水 KICC HIA 神戸リビング・優しいにほんご 防災ネット 多言語災害情報 避難場所、避難所、 避難所を知る、情報を集める	後藤ひろ子	
19	平成28年10月5日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	3	10月のカレンダー	・体育の日 東京オリンピック ・健康のために 運動： 筋力トレーニング 食事： たんぱく質、野菜、感触をしない、低カロ リー 睡眠 気を付ける	後藤ひろ子	
20	平成28年10月12日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	5	「銀行ATM 荷物を 送る」	・お引き出し お預け入れ 残高照会 お振込み 手数料 ご利用明細票 ・不在通知連絡票 EMS 100g ・電話する (名前、住所、電話番号) ・クロネコヤマト(宅急便)、佐川急便 例： A 今からご在宅ですか？ B はい、～時からお願いします	後藤ひろ子	
21	平成28年10月19日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	6	送別	・転職、転勤、信号無視 ・お元気で、頑張ってください、体に気を付けてくださ い サイモンさんは最後の日、お互いに質問をする、答える 会話力： 一方通行にならないこと	後藤ひろ子	
22	平成28年10月26日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	6	しりとりゲーム	・「私の一日」 昨日なんじに寝ましたか 今朝何時に起きたか 何を食べましたか どこで だれと 何で来まし たか ・学習者 ⇄ ボランティアに質問に答える	後藤ひろ子	
23	平成28年11月2日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	7	11月のカレンダー	・文化の日 勤労感謝の日 ・フィリピン All Soolsdas All Srrits Das ・ベトナム 先生の日 しりとりゲーム： 言葉を思い出すために続けていく 後半： ハンさん「みなさんの日本語初級1」 第3課 ベトナム語文法書も使い、1課ずつ読み上げ ていく	後藤ひろ子	
24	平成28年11月9日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	5	しりとりゲーム	たくさんの言葉が出て盛り上がる 事故 どうしますか？ ちかん、ひたくり、交通事項、 「どろぼう、 たすけて、 やめて、 にげて」 自転車ルールクイズ 本書の問題は大変難しいので、やさしいにする。 分かっていなかったことが多かった。再確認できた	後藤ひろ子	
25	平成28年11月16日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	5	子どもについて	・七五三 神社 子どものしつけが厳しい ⇄ あ まい ・こどもの時のお父さんお母さんはどうしたか こどもに対してどうですか ・しりとりゲーム： 言葉を教え、思い出す 新しい言葉は意味を理解する (学習者同市の話題の共有をもつとるよう気を付け る)	後藤ひろ子	
26	平成28年11月30日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	5	しりとりゲーム	・ しつけ ジェスチャー タブー ・あなたの国のジェスチャー ・してはいけないこと。	後藤ひろ子	
27	平成28年12月7日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	6	12月のカレンダー	・ 天皇誕生日 (昭和、明治、大正) ・ しりとりゲーム	後藤ひろ子	
28	平成28年12月14日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	8	年末・年始の行事	後藤 ー オスカー ・スイスの休み ・日本の店の休み、仕事	後藤ひろ子	

29	平成28年12月21日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	8	雑煮の話	雑煮の話 雑煮作り 今年の出来事、良かったこと	後藤ひろ子	
30	平成29年1月11日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	5	1月のカレンダー	振替休日の成人の日 フィリピン、アメリカ、スイス、ベトナムの「成人の日」 年始年末（はつもうで ぞうに おせち おみくじ） 喪中 風物詩 駅伝	後藤ひろ子	
31	平成29年1月18日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	3	百人一首	かるた作り、かるた遊び 坊主めくり、かるたとりゲーム	後藤ひろ子	
32	平成29年1月25日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	5	冬の服	・冬の服 何を着ますか 何枚来ていますか （アメリカ、フィリピン、スイス、ベトナム） ・かぜを予防する 。ふわふわ、もこもこ、ちくちか。。。 1まい 1ぞく	後藤ひろ子	
33	平成29年2月1日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	5	2月のカレンダー	・建国記念日 立春 節分 ・ 節分2/3 豆まき、のり巻きを食べる、いわしを焼く ・バレンタインデー 2/4 女性から男性へ～あげます。	後藤ひろ子	
34	平成29年2月8日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	4	夢・もし・・・たら	・「夢を見ましたか」「どんな夢ですか」 こわい、逃げる、追いかける、社長になります、 ・「もし宝くじにあたったら、どうしますか」「もしお金があったらどうしますか」 旅行したい、会社を作りたい、 ・「もし着かったら、・・・」「もし男の子だったら、・・・」 「もし猫だったら、・・・」	後藤ひろ子	
35	平成29年2月15日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	4	外国に住んでいます	「外国に住みます・住んでいます」 ・準備は？ 大変なことは？ 住宅、家具、食器、ことば、食べ物、 困ったことや失敗、トラブルがありますか？ ・友だちはできましたか？ ホームシック、 ・その他 職場、寺、教会、スポーツクラブ	後藤ひろ子	
36	平成29年2月22日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	4	民族衣装	・日本の着物の紹介 着物、はかま、帯、 ・いつ着ますか 成人式、結婚式、葬式、入学式、七五三、 ・世界の民族衣装	後藤ひろ子	
37	平成29年3月1日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	2	3月のカレンダー	・春分の日、(秋分の日)、お彼岸、お墓参り、 ・年度末、卒業式、転勤 ・ホワイトデー	後藤ひろ子	
38	平成29年3月8日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	4	一週間何をしましたか	・どこか行きましたか、 「～で、～で」 「～たり、～たり」 時々、～に一回 ・アルバイト ・お惣菜、イカナゴ、旬	後藤ひろ子	
39	平成29年3月15日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	5	一年の振り返り	・一年に話したことで印象に残っていることは何ですか ・これからどんなテーマを取り上げましょうか 食べ物、神戸のいいところ、節約しましょう、名前について、日本の習慣	後藤ひろ子	

日本語教育の実施【活動の名称：生活日本語クラス】									
目的・目標	ケミカル業界の家内工業的な職場で働く人が多く、難民出身やその関係で来たベトナム人の多住地域である。結婚や家族の一員として住んでいくので、日本語で生活できることを目標に読み書き会話を含めた学習を行う。ボランティアには自然な日本語で話してもらい、学習者が地域のことばに順応できるようにする。教室外でも自分で語学の上達に結びつける意識をもつことができるように学習記録簿を使って自律的に学習する訓練を行う。								
対象	入門・初級・中級レベルの日本語学習者								
取組の内容	前半は全体で会話学習やテーマ学習を行い、後半はマンツーマンかそれに近い体制で個人のレベルやニーズに合った学習を行う。ボランティアが中心となつてなぞなぞや自分の趣味、旅行の話などを紹介合つた。学習者が幼稚園や職場での人間関係で悩んでいることなどを話してくれたりし、複数のボランティアが親身にアドバイスしたりしていた。個々に合わせた漢字学習も行った。								
実施期間	平成28年5月15日～平成29年3月19日					曜日・時間帯		日曜日(10:00～12:00)	
開催回数	全 78 時間 (1回 2時間 × 39回)					開催場所		神戸定住外国人支援センター教室スペース	
参加者	総数 38人 (日本語学習者17人、指導者2人、補助者1人、ボランティア支援者18人)					使用した教材・リソース		news web easy、ネットなどから	
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	1	1	0	13	0	0	0	0	0
	スリランカ(1人) インド(2人)								
カリキュラム案活用	第1、11、12、23、26、28、30、31、39回で、カリキュラム案のⅠ健康安全に暮らす、Ⅲ消費活動を行う、Ⅷ人とかかわる を取り上げた。ガイドブックのP.8状況ニーズ、P.37活動方法の例の具体的内容をボランティアミーティングで説明した。学習記録簿に毎回の記録を書いた。								

日本語教育の実施内容								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年5月15日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	自己紹介	自分を紹介する方法 紹介した相手に質問をする方法	奥 優伽子	
2	平成28年5月22日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	ここはどこ、私は誰 ゲーム	ヒントは聞きながら、ここはどこかを当てる 動物を10種類を出し、選んだ動物を当て る	奥 優伽子	
3	平成28年5月29日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	10	私はどこ つるかめ算	私のいる場所をQ&Aで当てる つるかめ算 その1(としの差)	奥 優伽子	
4	平成28年6月5日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	8	しりとり	しりとりをして、詰まった人がおしゃべ りをする	奥 優伽子	
5	平成28年6月12日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	なぞなぞ	支援者になぞなぞを読んでもらって、 学習者に応えてもらう。	奥 優伽子	
6	平成28年6月19日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	10	日本の行事	今日は「父の日」の紹介から、日本の 行事を紹介	奥 優伽子	
7	平成28年6月26日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	11	もし～だったら	もし～(と、ば、たら、なら)でスピーチ してもらった	奥 優伽子	
8	平成28年7月3日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	同じ字なのに同じで ない 漫画・まんが・マンガ	高畑勲のエッセイ 読解(みな教材より)	奥 優伽子	
9	平成28年7月10日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	11	反対言葉	許可 ⇄ 禁止 開始 ⇄ 終了 平等 ⇄ 差別	奥 優伽子	
10	平成28年7月17日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	10	七夕 伝説	七夕の伝説の読解	奥 優伽子	
11	平成28年7月24日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	11	地震	地震が起こった時野行動(土肥)	奥 優伽子	
12	平成28年8月7日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	地震の時の注意、 ポスタ	地震の時の注意 Vして下さい / Vしないでください	奥 優伽子	
13	平成28年8月21日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	6	間違い 探し	二枚の絵を比べて違いを見つけ、 日本語で説明する	奥 優伽子	
14	平成28年8月28日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	10	クロスワード パズル	クロスワード・パズル 2題を全員で 行った	奥 優伽子	
15	平成28年9月4日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	11	二の人は誰ですか	容姿の特徴で誰か特定する ～さんへ 自己紹介の手紙を書く	奥 優伽子	
16	平成28年9月11日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース、教 室の周辺地区	11	自己紹介	(私の)好きなところ、嫌いなところ	後藤ひろ子	
17	平成28年9月18日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	さるかに合戦	絵を見ながら、物語を組み立てても らった	後藤ひろ子	
18	平成28年9月25日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	7	インタビュー	「ベジタリアン」に関するインタビュー	奥 優伽子	
19	平成28年10月9日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	16日は何をする？	ディスカッションの練習	奥 優伽子	
20	平成28年10月16日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	4	たこやきパーティー	たこ焼き作り	奥 優伽子	
21	平成28年10月23日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	10	算数 文章題 3問	1. クラスの合計は38人、男は6人少 ない 2. 1円玉と5円玉 28枚で76円 3. つるとかめ 9匹、足26本	奥 優伽子	
22	平成28年11月6日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	10	インフルエンザ	風邪を引かない方法について ディスカッション	奥 優伽子	
23	平成28年11月13日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	けいたい 持った？	けいいたいを最初のテーマにした雑談 ・いつからけいいたいを使っていますか ・どんな使い方をしていますか ・費用はどのくらいですか	奥 優伽子	
24	平成28年11月20日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	心理テスト(解説文)	・人の形をしたクッキー、どこから食 べますか ・私はサルです。どうやって手に入れ ますか	奥 優伽子	
25	平成28年11月27日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	10	ピザの注文	注文するピザを相談して、注文(電 話)する	奥 優伽子	ゲンフウホアン
26	平成28年12月4日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	8	漢字	部首について、漢字ビンゴ	奥 優伽子	
27	平成28年12月11日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	丁寧に断る	誘い方と断り方 二人でロールプレイをする 話を展開させる	奥 優伽子	

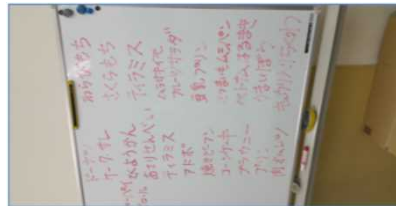
28	平成28年12月18日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	1週間のできごと	仕事、食事、育児についてフリート ーク	奥 優伽子	ゲンフウホアン
29	平成28年12月25日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	7	年賀状	年賀状書き	奥 優伽子	ゲンフウホアン
30	平成29年1月15日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	10	高度な自己紹介	名前の意味や由来、自国の紹介、自 分の町の紹介、家族や趣味	奥 優伽子	ゲンフウホアン
31	平成29年1月22日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	11	正月	ベトナムのテト、韓国の正月、カレンダー (暦)の話について 正月に用意するもの = バイチュン	奥 優伽子	ゲンフウホアン
32	平成29年1月29日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	12	一週間	この一週間に何をしましたか。 国の家族に電話をします。 友だちと飲みに行きます。	奥 優伽子	ゲンフウホアン
33	平成29年2月5日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	13	節分	2月3日の節分について:キーワードは恵 方巻、立春、豆まき、鬼、鰯びいらぎ、厄 除け、北北西。	奥 優伽子	ゲンフウホアン
34	平成29年2月12日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	12	バレンタインデー	日本とベトナム、中国の違い:中国とベ トナムも男性が女性にプレゼントをするそ うです。」	奥 優伽子	ゲンフウホアン
35	平成29年2月19日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	8	漢民族、民族衣装に ついて	・中国で漢民族のチャイナドレス、漢民族 以外の少数民族の民族衣装。	奥 優伽子	ゲンフウホアン
36	平成29年2月26日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	12	旅行先(スペイン)	スペイン旅行を予定している方にスペイン を紹介してもらおう。マドリード、闘牛、サッ カー、サクラダファミリアなど学習者の国 の事柄とを比較しながら話をする。	奥 優伽子	ゲンフウホアン
37	平成29年3月5日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	11	大相撲	相撲の紹介、相撲のことば、相撲を見 たことがありますか。ニュース原稿を 読む。	奥 優伽子	ゲンフウホアン
38	平成29年3月12日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	8	日本での生活	住んでいるところの間取り、一軒家・ マンション・アパート、賃貸・分譲など のことば。ローンで払う。	奥 優伽子	ゲンフウホアン
39	平成29年3月19日(日) 10:00~12:00	2	神戸定住外国人 支援センター教 室スペース	9	歌の紹介	3月の卒業式でよう歌われる歌、さくら にちなんだ歌、歌詞を読んで意味を 理解する。	奥 優伽子	ゲンフウホアン

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第6回 2016年6月15日】

前回の復習の後、ボランティア支援者による「オノマトペ」の話をグループトーク形式でした。笑う様子の絵を見てもらって「ニコニコ」「ニヤニヤ」「ゲラゲラ」のどれにあたるかなどクイズ形式で行った。泣いている絵や怒っている絵を見てもらって喜怒哀楽の言い方を中心に学習した。濁音のあるなしの感覚など身振り手振りを交えて伝える努力をした。例文を出し合ってどのように使うかを示した。日常生活でよく見聞きすることばだが、学習者には難しい表現である。おもしろい音のリズムに気に入った表現を口に出してみるなど楽しく興味深いようであった。この日はボランティアの一人が引っ越しで最後の日となるということで学習後にポットラックパーティを企画していたので、持ち寄った料理の名前を書き出し材料や作り方などの説明をし合った。



○取組事例②

【第22回2016年10月25日】

→学習者の一人がカステラの差し入れを持ってきてくれ、クラスが始まる前の時間にいただく。そこで朝ご飯を食べたかどうかの雑談になり若い学習者は抜いている人が多いことがわかる。この日のグループ学習でのテーマは七五三で子どもの成長を祝う行事であること、何をするかを写真を見せながら説明した後、数え年の話やそれぞれの国で子どもの成長に関係する行事があるかなどのお話に発展した。後半は個別に学習を進めた。文法を学習し直して正しくきれいな日本語を話すことを目標にする50代台湾人、N3の問題集に取り組むベトナム人、初級文法をテキストで学ぶベトナム人、夜間高校の授業についていくために学習するアメリカ人、居場所を孫の世話をするために来ている単語をひとつでも多く覚えようと努力している60代中国人、入門レベルのベトナム人1名とフィリピン人3名とやっていることは様々だが学習の場を共有して楽しくやっている。



(2) 目標の達成状況・成果

3月に行ったアンケートでは、学習者のほぼ全員が「(まあまあ)上手になった」、「満足している」「もっと勉強したい」という欄は100%チェックが入っていたので、このやり方で進めていくのはいいのではないと思われる。日本人の支援者に「相手のわかる日本語で話す」という歩み寄りの考え方が浸透してきたのは多文化共生の大きな前進であるし、学習者には発話を促すことや日本人のコミュニケーションの取り方(間合い、うなずき方、受け答えの仕方)の習得にも成果を上げてきている。学習の終わりに書いている学習記録簿は、書く作業を継続してしていることにもなり、学習の主導者が自分であるという自覚をもってもらえるのに役立っている。これは支援者に対してその日にやりたい学習内容を自分から言うようになってきた人が多くなってきたからだ。更にひらがなカタカナで文字学習を一段落する人がいたが、今年度は生活日本語クラス以外に「漢字学習カフェ」を4回行い、漢字学習開始のきっかけにすることができた。支援者側には自分たちの漢字指導の力をつけようという気持ちをもってもらえた。

(3) 今後の改善点について

アンケートは3月に行ったので、それ以前にやめてしまった人には満足の内容ではなかったのではないと思われる。水曜日の午前に友達グループで来たフィリピン人主婦層は聞く話すことには不自由がなかったが文字の読み書きができずに何十年か過ごしてきた背景をもっていた。来ているときは楽しそうだったので見過ごしてしまっていたが、話すことに重点をおいたプログラムではニーズに応えられなかったと反省している。また最近では十代の高校進学希望者や自国での低学力者も増加傾向にあり、語学学習の方法から一緒にやっていかないとけないとか、生活日本語だけではその人たちの生活水準の向上に対応できないと思われる。ボランティアの柔軟性を活かすような取組や行政や国際交流協会などとの連携も図りながら、外国人市民の日本語力および生活力の向上も視野に入れて取組を考えていきたい。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施【活動の名称:日本語学習支援者研修】										
目的・目標	当センターのある地区は下請けの製造業と震災後にできた復興住宅のある地域である。支援者は当地域以外から電車や地下鉄で来る人が多い。当地域の状況を理解し継続的な日本語支援が行えるように、支援者の確保と能力向上に取り組んでいる。									
対象	日本語学習支援者									
取組の内容	①日本語ボランティアのための基礎講座 15時間(「神戸市の外国人の歴史、長田区の外国人の状況」「ボランティアとは?必要な日本語能力とは?」「言語習得の方法、自律学習につなげる学習支援」「コミュニケーションをとるための日本語、日本語のレベルに合わせて」「日本語の学習法・文型学習『みんなの日本語』を使って」「日本語の学習法・場面別学習『できる?できた』『こうべのせいにかつ』『なでしこジャパニーズ』を使って」) ②研修会 17時間 (「事例発表会」「『日本語能力試験』について」「『活動を共有しよう!』『初級の日本語文法』『生活の漢字出前講座』『地域日本語教室を考える2017」									
実施期間	平成28年6月17日～平成29年2月18日					曜日・時間帯		①日本語ボランティアのための基礎講座 (9/25～10/23 毎週日曜日13:20～16:30) ②研修会 6/17(13:00～16:00)、11/29(10:00～11:30)、11/30(13:00～14:30)、12/17(13:30～16:30)、1/14(10:00～16:00)、2/18(13:30～16:30)		
開催回数	全 32時間 (1回3時間×8回、1回1.5時間×2回、1回5時間×1回)					開催場所		新長田勤労市民センター会議室、KFC教室スペース、神戸国際協力交流センター会議室		
参加者	総数78人 (日本語学習者2人、指導者・支援者76人など)					使用した教材・リソース				
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	
	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本(75人)、イギリス(1人)									
カリキュラム案活用	9月25日～10月23日に行った「日本語ボランティア基礎講座」の初日に金宣吉講師より、日本の日本語教育の現状と文化庁の取組を紹介した。第5回目に生活者のための日本語教育の実際の内容を、兵庫県国際交流協会の「できる?できた 暮らしの日本語」と当センターの「なでしこジャパニーズ」のテキストを使って研修した。									
養成・研修の実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要		講師名	補助者名	
1	平成28年6月17日(金) 13:30～16:30	3	神戸定住外国人支援センター教室スペース	9	事例発表会	日本語支援者による事例発表「当センターから見る日本語学習の現状報告」「日本語学習者の能力」「私の日本語学習支援」「水曜日の生活日本語クラス」		市村重勝 岡本道代 後藤ひろ子		
2	平成28年9月25日(日) 13:20～14:50	1.5	新長田勤労市民センター会議室	18	神戸市の外国人の歴史、長田区の外国人の状況	中世時代から外国との港町として機能していた歴史的背景と時代によってどこの国の人がどのような目的で住むことになったかで神戸市と長田区の特徴の話		金 宣吉		
2	平成28年9月25日(日) 15:00～16:30	1.5	新長田勤労市民センター会議室	18	ボランティアとは? 必要な日本語能力とは?	日本語ボランティアの役割と生活者の外国人に必要な日本語はどのような日本語か		中井好男		
3	平成28年10月2日(日) 13:20～16:30	3	新長田勤労市民センター会議室	18	言語習得の方法、自律学習につながる学習支援	自律的学習につながる学習支援:「教える」のをやめる		青木直子		
4	平成28年10月9日(日) 13:20～16:30	3	新長田勤労市民センター会議室	16	コミュニケーションをとるための日本語、日本語のレベルに合わせて	日本人のツールとしての「やさしい日本語」の考え方と実習		斎藤明子		
5	平成28年10月16日(日) 13:20～16:30	3	新長田勤労市民センター会議室	21	日本語の学習法・文型学習『みんなの日本語』を使って	ボランティアの日本語教室で、どのように「みんなの日本語」のテキストを使って学習支援をしていくか		根津京子 長陽子 北川秀子		
6	平成28年10月23日(日) 13:20～16:30	3	新長田勤労市民センター会議室	20	日本語の学習法・場面別学習、学習者に合わせた支援方法	生活日本語テキストの紹介、「できる?できた」(兵庫県国際交流協会)、「こうべのせいにかつ」(神戸国際協力交流センター)、「なでしこジャパニーズ」(神戸定住外国人支援センター)		財部仁子 小林真由美 川淵啓司		
7	平成28年11月29日(火) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	13	「日本語能力試験」について	日本語能力試験の概要とN5からN1の日本語レベルの説明、ボランティアでの支援の方法		斎藤明子		
8	平成28年11月30日(水) 13:00～14:30	1.5	神戸定住外国人支援センター教室スペース	4	「①活動を共有しよう ②日本語の初級文法	今やっている活動を参加者で共有する 日本語初級レベルの文法項目について研修		後藤ひろ子		
9	平成28年12月17日(土) 13:00～16:00	3	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	事例発表会	「高校入学希望者の支援経験」「ベトナム人主婦と学習して」「日本語学習活動」「当センターの今年度の取組について」		日野 勉 吉井 朋子 高橋 博子		
10	平成29年1月14日(土) 10:00～16:00	5	新長田勤労市民センター講習室	19	漢字出前講座	日本における識字教育、「生活の漢字」とは何か、漢字学習支援活動の紹介と実践		棚田洋平 御子神慶子		
11	平成29年2月18日(土) 13:00～16:00	3	神戸国際協力交流センター会議室	32	自己紹介	学習者の話 ボランティアの話 交流会(活動して困ったこと、うれしかったこと、言いたいこと)		董建娥、イェンス プラナム 奥村高矢、井口幸治、延原臣二、河口清子 村山勇		

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第10回2017年1月14日】

前半は棚田洋平氏による「日本における識字問題とは」というテーマで識字率99パーセントであるが、読み書きに困難を抱える日本人が存在すること、定住外国人、外国にルーツがある子どもたちを忘れてはいけないとのこと。現在でも義務教育未修了者が1000000人以上もいる。後半は御子神慶子氏による「生活の漢字」についての話と実習(学習体験)。1. 漢字に興味をもつこと 2. 勉強したいと思えること 3. 続けられることが重要。身のまわりのことばからスタートして、漢字を勉強する。たとえば、駅、ATMなど日常生活と切り離せないものから始める。楽しく学習するためのコツや「読めるようになることを第一の目標とする」こと。漢字を覚えるためのヒントとして「漢字のなかのカタカナを見つける」という視点の話もあった。その後グループに分かれ、室外にある読めたら便利な漢字を探すワークをし、非常口、立ち入り禁止、厳禁、ご遠慮ください、手洗、現在地など様々な言葉が出た。



○取組事例②

【第11回2017年2月18日】

(公財)神戸国際協力交流センターとの共催で「地域日本語教室2017」を開催した。事前に神戸市内のボランティアで行っている日本語教室に12月現在での学習者と支援者の募集の有無や募集時期を資料として提出してもらい、当日は神戸市の白地図に日本語教室の位置を記し、どこにどの教室があるか見えるようにした。始めに地域の日本語教室で学習している方に学習の様子を、次に支援者に自分の所属の教室の紹介と経験を話してもらった。神戸市の外国人の状況を神戸国際協力交流センター運営課長から行った。後半はグループごとに活動して困ったこと、嬉しかったこと、言いたいことというテーマで話し合い、最後にグループごとに発表して全体で共有した。他の教室のボランティア同士がお互いの状況を知り、共通点や違う点などを分かち合い交流するいい機会となった。



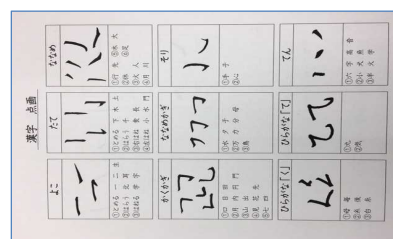
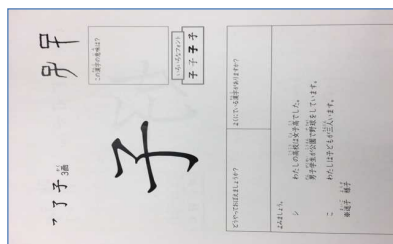
(2) 目標の達成状況・成果

当センターには長年にわたり携わっているボランティア支援者が多くいることから、研修も希望を取り入れながら一緒に作り上げていく形式をとった。第7回、8回、10回目が一緒に企画した分である。2回行った事例発表会は大学や日本語学校などの講師からではなく同じ立場の視線でお互いに参考になることを学びあえたらという目標をもって企画した。ボランティアの養成講座はボランティア目線での支援の仕方や伝わる話し方、日本語文法の学習、文型積み上げと生活日本語のことなど幅広く取り上げた。文化庁規定のアンケートが後半時にしかなかったが、すでに活動している人の受講が多く、自己研鑽で受けている人が多い。2月18日は神戸国際協力交流センターと数か月かけて準備をし、研修と交流とのいい機会を地域に提供できたようだ。

(3) 今後の改善点について

ボランティア支援者を対象としているが、日本語教育を学んだ方から国語教育と日本語教育の違いも知らない方がおり、また国際交流やボランティア活動も経験者や全く初めてという方もおり、研修の目標を設定し企画するのは難しい。日本語教育のための研修か、在住外国人の背景を知り理解をするための研修か、近隣住民としての人間関係を作っていくための研修か、地域の日本語教室の役割が日本語教育だけではないと考えられるので、今後は目標をしっかりと設定してそれに合った企画を作っていきたい。更に受講者の知識や経験が違っているので、活動を行っていく上での日本語ボランティア入門レベル、初中級レベルなどからも目標を設定し、研修内容が難しすぎたり物足りなかったりしないように考えていきたい。今年度の反省は、企画から実施日までの時間が短い場合もあり広報が十分にできたとはいえない。今後は早めに企画をして幅広くしっかり広報していかなければならない。

日本語教育のための学習教材の作成【教材の名称：「筆運びで学ぶ たのしい漢字帳 基本漢字148」「ひらがな学習帳」「カタカナ学習帳」】			
目的・目標	日本語の文字の読み書きを基礎から順序立てて学ぶ学習帳の作成。その学習帳を指導するための知識部分もつける。		
対象	文字学習入門者、漢字学習入門者		
教材の内容	①「筆運びで学ぶ たのしい漢字帳 基本漢字148」 ・基本的な漢字の点画を紹介する ・筆ペンで筆運びを学習しながら、細かいところにも注意して漢字を識別する力をつけるために、形の似ているものを同じ課で取り上げた ・A4サイズ1ページに1文字とし、書き順を表示、漢字の元である甲骨文字、代表的なフォントを紹介する ・意味やどうやって覚えるか、似ている漢字があるかどうかを自分で記入する欄を設置した ・よみまじょうの欄で、文の中で使われていることばと共に漢字の読み方を学習する ・後半では、部首の考え方を無理のなり程度で紹介する ②「支援者向け たのしい漢字帳 虎の巻」 ・上記の「たのしい漢字帳」の学習と一緒にすすめるにあたって、知っていると便利な知識をまとめた ③「ひらがな学習帳」 ・A4サイズ1ページに1文字とし、書き順を表示 ・生活でよく使うことばを紹介 ④「カタカナ学習帳」 ・A4サイズ1ページに1文字とし、書き順を表示 ・生活でよく使うことばを紹介		
実施期間	平成28年5月9日～平成29年3月19日	成果物のリンク先	
作成教材の想定 授業時間 コマ数と頁数	漢字学習クラス1回3時間×17回＝51時間分 ひらがなカタカナ学習クラス1回1時間×10回＝10時間（一回ひらがなカタカナ5文字＋発音＋復習）	教材の頁数	262ページ
カリキュラム案活用	教材例集を見て、どのような漢字が出てくるかの参考にしたが、今回の作成は、筆ペンで書いて筆運びを学ぶことをテーマにしたので活用はしにくかった。		
教材の活用方法	漢字帳作成中に「漢字学習カフェ」と称して4回行った。その後、学習希望者に引き続いて漢字帳を使った漢字指導を行っている。		
今後の活用の予定	文字学習入門者、漢字学習入門者に対して当センターの教材として使用していく。まずはボランティア支援者に使用してもらうように広報していく。なるべく多くの人に使用してもらって、使い勝手のいい点と悪い点を聞き、改善していく。漢字帳は、フォーマットに沿って基本漢字以外の字にも応用して利用を促す。		



4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

「生活日本語」の教室を拡充し進化させる。これまで5年間、講師とボランティアとが協力して「生活日本語」クラスを行っており、学習者の日本語会話力と多文化相互理解をすすめることができています。そこで培った学習方法や内容を養成講座と研修会で取り上げ、より多くの支援者養成とレベルアップを行う。さらにこれまで手薄であった中上級レベルに引き上げていくための読み書きと漢字の力をつける。漢字に関しては意味が分かり読めること、書く場合の基本知識を習得するテキストを作成し、語彙を発展させられるようにする。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

生活日本語教室では、学習者が日本語教室に継続して来ており、楽しく参加しているようで、3月に行ったアンケートでも満足しているという結果であった。当地域の特性上、丁寧に学習指導をしていくことが必要な人が多いので、指導者とボランティア支援者協力していい雰囲気のクラスを作っていると評価できる。ボランティア支援者は地域住民であるのでその人たちの多文化共生の理解も進んでいる。指導者養成では、活動中のボランティア支援者が多数参加してくれ、他のボランティア教室や市の国際協力交流センターとも連携が取れた講座や研修会ができた。教材作成は、まず作り手のメンバーでコンセプトを話し合い、学習者が漢字を嫌いにならないように、無理なく楽しく学習できることを考えた。メンバー同士の協力関係が築かれ、漢字カフェの形式で漢字学習は楽しいということを伝えることができた。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

クラスごとに指導者と日本語ボランティアで学習前の準備段階でカリキュラム案に目を通し、今期の学習者に適当だと思われるものを取り上げた。病院、防災、事故事件は組み込むようにした。カリキュラム案使用に関して、日本語教育の知識や経験と生活者がどんな日本語を必要としているかを知っている人には理解できるが、ボランティア支援者として来ている地域住民には難しいようであった。日本語能力の評価と指導力の評価は当センターのような教育機関でない地域日本語教室の活用は、教室の趣旨からしても使用しにくかった。学習者の評価はするべきだが、成果が表れない場合のフォロー指導力が自分たちに不足している。指導者やコーディネーターの立場では時々見返して自己研鑽に励むきっかけとするのがいい。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

市の国際交流センターと県の国際交流協会とは、多文化共生や国際フェアなどを協力して行う体制が以前からあるが、今年度は日本語ボランティア養成講座で、外国人支援の体制を説明してもらったり、学習方法についての研修を行ってもらうことができた。当地域には難民出身のベトナム人が多く住んでおり、受け入れの時から支援している難民事業本部の日本語教育相談員にはクラスで取り上げる内容についてや漢字学習帳作成のアドバイスなどをもらった。夏休みには高校生がインターンとして2名参加し、彼らの力をかりて、地域探検に出かけた。阪神淡路大震災後の復興事業で新しいビルや地下街、観光施設があり、改めて面白いスポットの発見があった。地域活性化の一環では、外国出身者の出店の出店要請があり、屋台にて珍しいお国の食べ物屋を出店してもらい、クラスのメンバーも応援に行ったりした。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

日本語教室は当地域では「あそこに行けば日本語が学習できる」と知られているので、新たに入国した方にはコミュニティの誰かの紹介で来る人が絶えない。今年度はそれプラスでインターネットで検索して当センターにアクセスしてくる人が多かった。日本語指導者研修は、事例発表会を2回行ったが取組が初めてであったのもあって広く周知できなかった。日本語ボランティア基礎講座はHPでの発信で早い時期に定員になった。日曜日に開催であったからかもしれない。今回社会人で日本語を教えることに興味がある人が多く来た。事業成果は10月の文化庁日本語教育研究協議会で昨年度分を発表させてもらったのと、2017年2月は当センターの20周年の式典と祝賀会があり、その際の冊子とパネル展示で行った。取組3の漢字学習帳については今後発信していきたい。

(6) 改善点、今後の課題について

生活日本語教室は、生活場面での受け答えや日本人とのよりよい人間関係を築くことを目標にしており、聞く話すを中心としていて成果があがっている。それに比べて読み書きの力を伸ばすことができていないので、弱点としてあげられる。ある程度の会話力ができるようになれば、次は漢字を含めた文字語彙学習や相手に合わせたことばの選び方を学習していく必要がある。ボランティア支援者も明るい雰囲気作りだけでなく、学習に来る人が自立して日本で生きていき、生活の幅を広げられるように次のステップに上げる意識を持ってほしいと思う。さらに取組全般的にプログラムの作りこみが支援者側からの視点であるので、学習する人、生活する人の立場からの要望や意見をもっと取り上げ、プログラムを作るようにしなければならない。以上が改善点と今後の課題である。

(7) その他参考資料